

一般社団法人 日本総合健診医学会

2024年度 社員総会並びに日野原重明賞授与式のご報告



一般社団法人日本総合健診医学会の2024年度定時社員総会は、本学会第52回大会の2日目、2024年1月27日(土)午前8時より倉敷アイビースクエアにおいて開催された。

初めに西崎泰弘理事長より、「現在第52回大会が浜田大会長の元、盛会裏に行われており、ここにご参集の皆様には昨日本日と活発なご意見およびご発表をいただけていることと思います。この社員総会では様々な学会活動の報告をさせていただくと共に皆さまからのご意見を聴取する場です。この後は日野原重明賞授賞式や大会プログラムが控えているため、円滑な進行のご協力をお願い致します。」との挨拶があった。

続いて浜田宏大会長より、第52回大会1日目がつながり終了したこと、また倉敷まで足を運んでいただいた会員の皆様、および演者・座長としてご活躍いただいた方々への御礼が述べられた後、「昨日の参加者は、事前参加749名、当日参加132名の計881名であり、本日も多くの講演、シンポジウムがあるため、活発なご発表をよろしくお願い致します。」との挨拶があった。

引き続き、社員総会の議事に入り、西崎泰弘理事長が議長を務め、定足数の報告に続いて議事が進められた。

議案は次の通りで、全ての議案が異論なく承認された。

- 1号議案 2023年度 事業報告の件
- 2号議案 2023年度 決算報告の件
- 3号議案 監査報告の件
- 4号議案 2024年度 事業計画書の件
- 5号議案 2024年度 予算書の件
- 6号議案 審議員選任の件
- 7号議案 第54回大会長任命の件

2号議案では、会員数増加や総合健診医制度の創設、各種研修会の受講料の増収に伴い予算を上回る収入となり、また事務所費および事業費全体が抑えられたことで支出の予算を下回ったことが報告された。また、特別会計(優良総合健診施設更新事業)の支出で、標識代が8,227,625円となっているが、これは誤っており、正しくは「標識代8,205,240円、通信費22,385円」であることが説明された。合計金額に訂正はない。

6号議案では、6名の審議員が選任された。(資料1参照)

7号議案では、次々期(第54回)大会長に高木重人理事が選任された。

議事終了後、「5.その他」で、林務理事長特別補佐より、昨年の学会会員システムへの不正アクセスによる会員情報流出について、その後の対応が以下の通り報告された。

- ・昨年度の社員総会での報告後、プログラムの修正、認証方式の変更、およびパスワード初期化の対応を行った。以降、再度の流出は起きておらず、流出による2次被害の報告は受けていない。
- ・セキュリティの見直し・強化と共に、今後は定期的にシステムの脆弱性診断を行う。また、システム管理委託会社から定期的な報告を受けることとし、引き続き再発防止に努めていく。

以上をもって社員総会は終了、閉会した。

続いて、次期大会長 井上 詠 理事より、ご挨拶および大会概要の説明があった。

第53回(2025年)学術大会は、次の要領で開催する。

- ・日程：2025年1月31日(金)・2月1日(土)
- ・会場：グランドニッコー東京ベイ舞浜(千葉県)
- ・テーマ：「継往開来 エビデンスと経験を受け継ぎ、新しい時代の総合健診を切り開く」

伝統と経験に基づく総合健診と、AIも含め、新しい検査法をどう融合していくかという観点で有意義なプログラムを組んでいきたいと考えている。

次々期大会長 高木 重人 理事からは、第54回(2026年)学術大会について、健診・保健指導に従事している方がご自身の仕事に誇りを持てるような大会を目指したいこと、会期としては現時点では2026年1月23日(金)~1月24日(土)の2日間で、会場はパシフィコ横浜会議センターを予定していることが説明された。

最後に日野原重明賞(健康予防科学賞)授与式が行なわれた。

今年の実賞者は、佐藤祐造先生(名古屋大学 名誉教授・一般社団法人 健康評価施設査定機構理事長)、および篠原幸人先生(東海大学 名誉教授・国家公務員共済組合連合会立川病院 名誉院長)の2名となった。

高橋敦彦選考委員長から、この賞の趣旨と目的の説明、および各先生のご経歴とご専門でのご活躍状況等の選考理由が説明された後、受賞された先生よりご挨拶のお言葉をいただいた。(学会誌 p. iv~vi に掲載)

以上